

かかりつけ医と病院を結ぶ

東北中央病院 病診連携室だより

平成24年 9月 No. 39

ホームページ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

◇ 理念 ◇ 「心温かい 信頼の医療」 病院長 田中 靖久



第5回消化器疾患治療シンポジウム

9月13日(木) ホテルメトロポリタン山形に於いて、毎年恒例の消化器疾患治療の最先端を討論する会である『第5回消化器疾患治療シンポジウム』を開催しました。御参集を賜りました先生方には、大変お忙しい中にもかかわらず、多数の御参加を頂き、厚く御礼申し上げます。

◆メインテーマ◆
『肝疾患診療の現状と将来展望』



メイン座長・アドバイザー

山形大学医学部第2内科教授 上野 義之 先生

★上野先生には座長と消化器内科アドバイザーとして御尽力を頂きました。



【演題Ⅲ】

『肝細胞がん診療と病診連携』

山形大学医学部附属病院

病院教授(消化器内科) 渡辺 久剛 先生

肝細胞癌の診断に有用なMRI検査やALT値とのかかわり、またこれまであまり知られていなかった糖尿病との深い因果関係など貴重なお話を詳しくわかりやすく講演していただきました。また、肝細胞癌は自覚症状があまり無いことから、発見が遅くなることが多く、発見後の余命期間が他の疾患に比べて短くなっていることから、かかりつけ医と病院との病診連携がとても重要である旨のお話をいただきました。



【演題Ⅰ】

『ウイルス性肝炎について』

東北中央病院
消化器内科医長
伊藤 麻衣 医師



【演題Ⅱ】

『生活習慣と肝疾患』

山形大学医学部
第2内科助教
佐藤 智佳子 先生



病院長：田中靖久 石濱活義 医師 上野義之 先生



これまでの、胃・大腸疾患と消化管系の内容でしたが、今回は「肝疾患診療」という新たな内容での開催となりました。

最新の医療情報を共有し、今後も地域医療の発展のために役立てて頂ければと思います。該当する症例がありましたら、是非当院をご利用頂けると幸いに存じます。職員一同、患者さんのために、良質・適切・安全な医療で一丸となって治療にあたります。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

伊藤麻衣医師より、肝細胞癌の原因の8割を占めるC型及びB型肝炎について、最新の情報・治療法について発表していただき、佐藤智佳子先生より、「脂肪肝」という日常ありふれた病気の中に「NASH」という恐ろしい病気が隠されている現状について詳しく講演してパネリストとのディスカッションを行い、御参集の先生方より御質問等を頂きました。



〒990-8510 山形市和合町3丁目2番5号
公立学校共済組合 東北中央病院 病診連携室
TEL (フリーダイヤル): 0120-703-995
FAX (フリーダイヤル): 0120-168-990
代表 電話: 023-623-5111